

日進塾

VOL.200

発行 日進塾

最高の夏休みのために最強の計画を立てよう!!!

夏休み計画の



君の最高の夏休みの計画を教え下さい。当教室が全力でサポートします。

① 君の夏休みを最高の夏休みにするためには、君は、自分自身に厳しくなければいけない!
今日しなば明日は多分楽な夏休みを明日に迎えることは君が自分自身に負けることだ!!

② 夏休みを君の夢の実現のための出発点にしよう!
大きな夢と希望があれば、夏休みの一日はいつでも最高の思い出になる。日々が同じ夢の輝きのように見える。その日の君の夢に近づける。

③ 夏休み、君にとっての新たな挑戦をしよう!
挑戦がうまいか悪いかで、そこには新鮮な驚きと発見がある。失敗することを恐れるな。君の生き方は決して遅くはない。

夏期講習が君を鍛える!

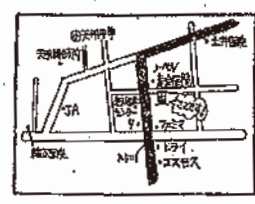
最後まで頑張るとは、大きな喜びである!!

今年も夏休みが近づいて来る。この休みをどう過ごすかによって、休みの明けの君と一人一人の隔付きは、またく違ってくる。休みの明けをどうしたくないか、嫌いなことを迎えないためには、絶対に夏休みに悔いを感じないこと。夏休みの目標を達成した充実感があれば、休みの明けの隔付きは生き生きとした光輝の輝きに変わります。

夏休みは、自信をなくした人は、自信を取り戻し、元気をなくした人は元気を取り戻す時だと思えます。なくしたものを取り戻すためには、君たちが決断し君たちが行動するしかありません。

夏期講習は、君の自信と元気を取り戻してくれる機会でもあります。そして何より夏期講習は、君の心と頭を鍛えます。夏期講習に参加しやり遂げることは君たちの大きな喜びになります。

夏期講習で会いましょう!



日進塾

096(223)3151

熊本市南区鏡壇町2136-8

HP <http://www.nissshinjuku.com/>

七夕 たなばたのものかたり

七夕



わし座の一等星アルタイルが牽牛(彦星)、琴座の一等星ベガが織姫です。

古代中国でのお話です。

昔々、天の神様である天帝が天の川のそばに住んでいました。天帝には一人娘の織姫がいました。織姫はその名の通り機織りが大変上手で毎日機を織って神々の服や家々を飾る布を織っていました。

やがて織姫が年頃になると天帝は働き者の織姫のためにお婿さんを探しました。色々探しているうちに牽牛、という若者が天帝の目にとまりました。牽牛は大変な働き者で、天の川の岸辺で牛を飼っていて朝から晩まで牛の世話をしていました。

織姫と牽牛はお互いに相手を一目見ただけで好きになっちゃいました。二人は結婚して楽しい生活を送るようになりました。ところが、仲が良すぎたために仕事を忘れて二人で遊んでばかりいるようになってしまいました。

天帝は何度も注意をしましたが、二人とも全く働く気がなくなり、そのうち神々の服は古くなってボロボロになり、牛たちも病気になるくらいにやがて死んでしまいました。

天帝はすっかり怒ってしまいました。二人を天の川の西と東に分けてしまいました。しかし、牽牛と会えなくなっちゃった織姫が毎日泣いてばかりいるのをかわいそうに思いました。織姫も泣き止まずに、一年に一度、七月七日の夜にだけ会うことを許そう!

二人は年に一度、七月七日の夜に会えることを心の支えに毎日一生懸命働きました。そして、待ちに待った七月七日の夜、織姫は天の川を渡って牽牛のところへ会いに行きます。

雨が降って水かさが増したときは、どこからともなくたくさんのカササギが現れ、天の川に橋を架け織姫と牽牛を会わせてくれました。それでも七夕の夜が雨だと、カササギも翼を広げて橋になることはできません。だから私たちは、七夕飾りのたくさんある短冊の中に、「七夕の夜は晴れますように」と、必ずこの願いの短冊を一つかけておくのです。